

創業90年の丹波松茸昆布本舗「あめ久」が京都信用金庫の支援で第三者承継として、知人への事業譲渡で暖簾が引継がれた。

◀譲渡側▶ 野川 眞氏(81歳) 野川英子氏(74歳) ご夫妻
◀譲受側▶ 岸田美幸氏(62歳)と和久理絵氏(長女) 親子

事業承継支援までの経緯

- ▶あめ久は丹波篠山で創業し90年となる。先代の川西氏が40数年前に現在地(京都市南区西九条南小路10)に移転して営業。立地は世界遺産である東寺の東門前で多くの国内・海外の観光客が訪れている。
- ▶野川眞氏は旧京都みやこ信用金庫を定年退職後に同金庫の元同僚の紹介で一念発起して「あめ久」を(先代川西氏が高齢でかつ後継者不在)17年前に事業承継した。
- ▶しかしながら64歳で承継した野川眞氏は17年間夫婦で頑張ってきたものの、自らも高齢化(81歳)と後継者不在という課題を抱えながら廃業だけは避けたいと考えていた。
- ▶そんな折、気に掛けてたびたび訪問してくれる京都信用金庫九条支店担当者の塚田氏がいた。その担当者の熱意と誠意に押されて「後継者がいないので廃業することになる」との相談をしたことから京都信用金庫の事業アトツギ支援部を通して当センターを紹介された。
- ▶野川眞氏から相談を受けた当センターでは京都信用金庫と連携して後継候補者を3者紹介したが合意に至らず2年が経過していた。
- ▶そこで海外の観光客相手に少しでも役立たせるため野川英子氏が通う英会話教室で、その生徒である岸田美幸氏に「引き継いでほしい」と声を掛けたところ意気投合した。
- ▶譲受側の岸田美幸氏は、海外からの観光客が多い立地において自身が英語力が活かせることに加え、何よりも自身が「あめ久」のファンであることから事業の引継ぎを真剣に検討。長女である和久理絵氏の協力が支えとなり決心を固めて事業譲渡契約が成立した。



これからも多くのファンが訪れる老舗「あめ久」

マッチングの留意点

- ・事業譲渡のため事業資産、経営ノウハウ、得意先など個別の譲渡
- ・店舗の賃貸借契約の新規契約
- ・譲受者が事業を行うための営業許可の取得
- ・譲受者の今後の経営に関する事業計画書の策定
- ・今後の経営のための資金調達

成約に至ったポイント

- ・譲渡者と譲受者が知人であり信頼が醸成されていた
- ・事業譲渡価格が双方にとって適正であった
- ・譲受者の熱意と覚悟が示された
- ・当センターが公正・中立の立場で支援した

YouTube動画



事業承継・引継ぎ支援センターの対応

- ▶譲渡側への支援
 - ・事業の課題・問題の抽出
 - ・双方の要望のヒアリング
 - ・締結等に向けたセンター登録の外部専門家(会計士)の紹介
 - ・事業譲渡に係る契約等のアドバイス

- ▶譲受側への支援
 - ・事業経営未経験の岸田美幸氏親子に事業引継ぎに係る手続支援
 - ・事業承継計画、収益計画の策定支援
 - ・今後は京都商工会議所洛南ビジネスサポートデスクを紹介し、店舗経営を支えるための様々な支援であるIT化に向けた専門家派遣や、事業再構築を進める補助金支援など進めて行く予定



野川氏ご夫妻(左)と岸田さん親子



お客さんを引き付ける品々

ひとこと

- ・創業90年の佃煮製造・販売事業で全国からの注文も多く、2,000人を超えるファンがいる。後継者が不在で廃業するのは地域経済にとっても問題である。
- ・前経営者も事業承継でバトンを繋ぎ、商品や顧客を熱い思いで守ってきた。そのような思いを繋いでくれる後継者を探していたところ今回見つかったことがマッチングの成功につながった。人と人の信頼や思いが事業承継では大変大切である。
- ・また、本件は紹介を受けた京都信用金庫との連携が成約につながった。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター
統括責任者 宮嶋 渉